

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 ベーシック研修【基礎研修】

A 日程: 令和6年5月28日(火) 10:00～15:00 青森県総合社会教育センター 受講者30名
B 日程: 令和6年9月 3日(火) 10:00～15:00 青森県総合社会教育センター 受講者19名

1 内容

【講 義】「いま、生涯学習・社会教育関係職員に求められること」

【演 習】「熟議」を体験してみよう」

～発表しない、まとめない！？えっ！？～

【講 師】秋田県生涯学習センター 主査（兼）社会教育主事

秋田大学 非常勤講師

みながわ まさひと
皆川 雅仁 氏



【経 歴】

小学校教諭に採用されてから、秋田県教育庁等で主任社会教育主事や班長を務め、2012 年からは、小学校・中学校の校長も歴任している。校長時代の2年間は、文部科学省のコミュニティ・スクール推進員も務めた。社会教育関係では、派遣社会教育主事4年、教育事務所2年、宿泊型青少年教育施設4年、社会教育機関7年、県教育委員会生涯学習課6年、通算、学校教育17年、社会教育21年のキャリアを持っている。

2021 年からは、秋田大学の非常勤講師として社会教育経営論も担当している。生涯学習・社会教育、学校教育に関するさまざまな分野の研修講師として、秋田県はもとより、東北を中心に全国各地で活躍している。

【講義要旨】

- 生涯学習・社会教育の事業は、地域の人づくり、つながりづくり、そして地域づくりの循環を目指すために行われています。
 - 生涯学習や社会教育で何を抛り所に事業を企画すればよいかを考えると、まずは、関係法令（教育基本法や社会教育法等）や各種計画、社会教育関係団体等について確認することが大切になります。
 - 秋田県生涯学習センターでは、業務（事業展開）について改善を図るために、職員が一堂に会する勉強会を何度も行った結果、新たな事業として「オーダーメイド型社会教育主事派遣事業」や「障害者の生涯学習支援事業」を企画し、実施しています。
 - 社会教育のマネジメントには、LRDC注）（2019 皆川氏提唱）のサイクルが有効です。地域をしっかりと見て状況を把握することから始め、既存のモノ・コトやつながりに改良を加えることで事業を企画・実施。その結果生まれたつながりを生かして、次の展開を考えることをおすすめします。「事業成功の鍵はネットワークにある」と言っても過言ではありません。
- 注）Look（意識的に見る）、Renovate（改革する）、Do（実施する）、Connect（つながる）

2 受講者の感想

- ・自分の担当業務の根拠法令を知ることができ勉強になりました。熟議の方法やファシリテーションの姿勢を実際に見て学ぶことができてよかったです。
- ・社会教育関係職員として、求められる資質について、理解を深めることができました。法律の軸を持つことや、心構え、また、熟議に関するノウハウも学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。